



プログラム概要

フィナンシャルリスクマネジメント・グローバルエグゼクティブ修了証書プログラムは、ボトムアップの市場指標およびトップダウンの全体論的視野から、リスクマネジメントの技巧と科学を徹底的に理解し、応用できる能力を習得するために考案されたプログラムです。受講生参加型の演習を通して、様々な市場アプローチを分析し、歴史のおよび文化的背景をも含めて理解を深めていきます。さらに、日本企業が直面する特有のリスクマネジメントの課題にも取り組みます。本プログラムは、「**リスクマネジメントの基礎**」、「**リスクマネジメント実施計画**」、「**リスクマネジメントモデルとツール**」、および「**リスクマネジメントの経験的な適用**」で構成されており、グローバル市場でプロフェッショナルとして成長し発展するために、大変有意義なプログラムとなっています。

まず最初に、基本的なリスクマネジメントと典型的なリスク要因について理解を深めるため、「**リスクマネジメントの基礎**」講座を学習します。「**リスクマネジメント実施計画**」では、極値理論など、より高度なコンセプトとリスクマネジメントのアプリケーションについて学びます。ブラックスワン効果とも呼ばれる、予測不可で衝撃の大きい事象を、トピックとして取り上げます。「**リスクマネジメントモデルとツール**」では、バリュー・アット・リスク (Value at Risk) モデルなど、広範に使用されているリスクマネジメントモデルをはじめ、リスクメトリクス (Risk Metrics) やMSCIバーラ (MSCI Barra) などのリスクマネジメントソフトウェアについても学習します。これまで、ワシントン・ミューチュアル (Washington Mutual)、ロングタームキャピタルマネジメント (Long Term Capital Management)、ペアリングス銀行 (Barings Bank) および住友商事など、多くの企業がリスクマネジメントで失敗を繰り返してきました。「**リスクマネジメントの経験的な適用**」では、リスクマネジメント上の失敗の実例を理解するために、高度で経験的な問題に基づいたケース・スタディに取り組みます。世界の金融史上での重要な出来事を検証し、分析的思考スキルを用いて、過去の教訓から最新のリスクマネジメントソリューションを導き出します。**本プログラムを受講していただくためには、金融機関、製造業、または貿易会社での最低2年間のフルタイム勤務経験と、経済、財務、および正規分布などの簡単な統計的概念の基礎知識が必要となります。**

本プログラムの核となるのは、リスクマネジメントを構成する主要要素の厳密な分析です。主要格付機関のソプリング付け、市場リスク・プレミアム、ソプリングCDS、CDS、および流動性の深さなどのリスク指標を徹底的に議論します。定性的および定量的ツールを使用してグローバルなリスクを予測し、主要な知見に関するレポートを作成する手法について理解を深めます。各講座において、実社会で直面する問題をベースにした課題に取り組むことにより、プロレベルの質の高いポートフォリオが作成できます。

プログラムの学習成果

本プログラムを修了することで身につくスキル:

1. 金融機関や企業のリスク要因の影響を受ける問題を解決
2. リスクマネジメントのテナントとモデルを活用して実施計画を作成
3. 市販のリスクマネジメントソフトウェアと社内開発のリスクマネジメントソフトウェアを比較
4. 日本企業が直面するリスクマネジメントの課題を改善
5. 主要な調査結果に関するプレゼンテーションの実施

プログラムの講座について

(本プログラムの講座は、順番通りに受講していただく必要がございます)

講座 1：リスクマネジメントの基礎（基礎）

講座概要

本講座ではリスクマネジメントの基礎を学びます。基本的な概念とモデルを学習し、金融リスクマネジメント、運用リスクマネジメント、グローバルな政治的リスク要因の理論的枠組みについて探求していきます。リスク分析プロセスと手順の重要性を検証し、市場が内包しているリスクレベルを分析します。

講座学習の目的

本講座を修了することで習得できるスキル:

1. リスクマネジメントの基本的な概念と構成要素を要約し、異なる機関または企業に対して市場が示唆する格付けについてのディスカッション
2. 国際市場におけるヘッジのリスク要因と主要なリスクドライバーを分類
3. グローバルな負債主のリスクレベルを評価
4. 変化し続けるリスクマネジメント環境や重要なトレンドを調査し、企業に最も適した戦略を分析
5. チームで協力して、効果的なリスクマネジメントソリューションモデルを提示

講座 2：リスクマネジメント実施計画

講座概要

本講座ではリスクマネジメントのより高度な問題を取り上げます。正規分布と非正規分布の統計モデルについて学習します。運用リスクデューデリジェンス、ヘッジファンドリスクマネジメント、サイバーセキュリティ、およびフィナンシャルテクノロジー（FinTech）のリスクマネジメントにおける重要ポイントを探求していきます。

講座学習の目的

本講座を修了することで習得できるスキル：

1. 典型的なリスクマネジメントモデルを見直して、その有効性についてディスカッション
2. 自社開発ツールを推奨するための保険ポリシーと価格設定の作成
3. 資産負債管理機能を持つツールを選択する際に、長寿リスクの重要性（特に日本市場において）についてディスカッション
4. 市販のリスクマネジメントソフトウェアの最も優れた主要機能を、自社開発ツールと比較して評価

講座 3：リスクマネジメントモデルとツール

講座概要

本講座ではリスクマネジメントの実践的応用を学習します。リスクマネジメントソフトウェアに必要とされる主要なアウトプットは何でしょうか。参考モデルの代表例として、モンテカルロシミュレーションを取り上げます。市販の主要商用リスクマネジメントソフトウェアを使用することにより、効果的な演習を行い、サードパーティのリスクマネジメントツールに依存することで引き起こされる脆弱性について検討します。日本の金融市場向けに作成されたリスクマネジメントソフトウェアを使用して、デモンストレーションを行います。

講座学習の目的

本講座を修了することで習得できるスキル：

1. 代表的なリスクマネジメントモデルの活用
2. 社内開発リスクマネジメントツールと市販のリスクマネジメントツールの比較
3. 最適な通貨リスクマネジメントツールと手順の選択
4. 資産負債管理プロセスにおける長寿リスクについてディスカッション

講座 4：リスクマネジメントの経験的な適用

講座概要

本講座では、高度なリスクマネジメントを、経験に基づいて運用することに焦点を当てています。前講座で紹介されたリスク要因に基づいて、問題に基づいたシナリオと実際の状況を比較することにより、リスクの可能性を検証します。検証を行ったシナリオを基に、リスク要因やリスクマネジメントの失敗の結果について、分析、検討し、ディスカッションを行います。本講座は、日本の受講生のニーズを十分に考慮し、日本の金融機関特有の課題に対処できるよう考案されています。講座の総括として、プレゼンテーションを行います。

講座学習の目的

本講座を修了することで習得できるスキル：

1. リスクマネジメントプロセスにおける典型的な失敗についてディスカッションを行い、ビジネスを検証
2. 高度なリスクマネジメント原則を活用して、ソリューションを作成
3. 日本企業の視点から、グローバルな投資環境における為替リスクを予測
4. 暗号通貨のリスクおよび日本の金融機関へ与える影響を調査し、発表

受講料……………1 講座 125,000 円（税抜き）

講座スケジュール…平日の夜および週末に開講しております。講座スケジュールの詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

指導言語……………ほとんどの講座は英語で行われますが、日本語で行われる講座もございます。
指導言語の詳細につきましては、ウェブサイトをご覧ください。